

2025年7月2日

令和7年度 VOL.19

～夏の海浜部を彩る “砂丘の女王”～ スカシユリが咲き始めました

国営ひたち海浜公園の「砂丘エリア」では、スカシユリが咲き始めました。花言葉「注目を浴びる」の通り、鮮やかなオレンジ色の花がひととき目を引きまします。強い日差しと潮風の中で力強く咲く姿から、“砂丘の女王”とも称されます。また、夏の砂丘エリアでは、絶滅や準絶滅が危惧される希少な動植物にも出会えます。



砂丘エリアに咲くスカシユリ（2025年6月30日撮影）

◆厳しい環境に適した花姿

日本原産のスカシユリはユリ科ユリ属で、高さは20～60cm、海岸の砂地などに生える多年草です。花径8～10cmほどの杯状になり、鮮やかなオレンジ色の花を上向きに咲かせます。花弁の下方が細くなり、隙間ができて透けて見えることが名前の由来です。梅雨時に咲き始め、雨が花弁の隙間から落ちる花の形により、水がたまりにくくなっています。また、強い潮風に耐えるため、地を這うように低く育つなど、厳しい環境に適応した特徴を備えています。

【スカシユリ】 開花時期／7月上旬～中旬 場所／砂丘エリア



赤褐色の斑点が特徴的（2025年6月30日撮影）

◆公園ボランティアによる保全活動

本公園内においてスカシユリは保護活動を実施しなければ、将来的に絶滅してしまう可能性のある植物です。公園では、2006年からスカシユリの増殖活動に取り組んでおり、人工授粉や採種、播種や苗の植え付け、ネットによる保護などを実施しています。これらの活動を行う公園ボランティアの「野生植物パートナー」は、希少植物の開花株数調査や圃場での育成、増殖活動など、年間を通して希少な動植物が息息・生育する砂丘環境を守る取り組みを続けています。



種を選別する様子（2025年3月28日撮影）

◆海浜公園ならではの希少な動植物

当公園の砂丘エリアは、久慈川から流出した砂が漂砂となり海岸に堆積し、その砂が北東風により押し上げられて形成されています。夏の砂丘エリアでは、茨城県で準絶滅危惧に指定されている植物「カワラサイコ」や「カワラナデシコ」、環境省で絶滅危惧に指定されている昆虫「カワラハンミョウ」など、海浜公園ならではの多様な動植物が観察できます。



「カワラサイコ」

「カワラナデシコ」

Information

今年の「水遊び広場」は7月19日(土)にオープンします。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 服部・渡邊・石井
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>